

# KVK 壁付サーモスタット式シャワー 取扱説明書1

KF3050(W) 〈各仕様共通〉

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- この取扱説明書はKF3050仕様のイラストで説明しています。

## 安全上のご注意


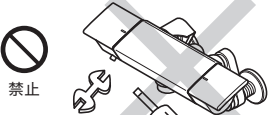

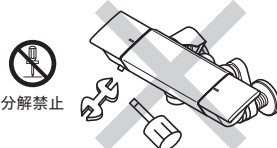
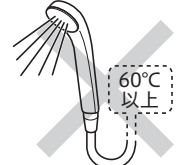
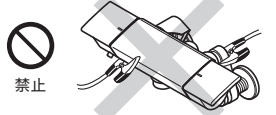

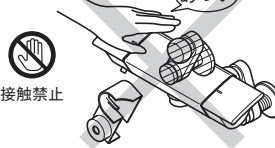
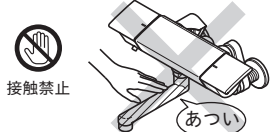
- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


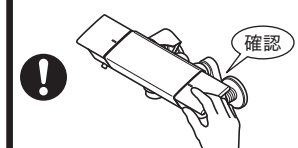
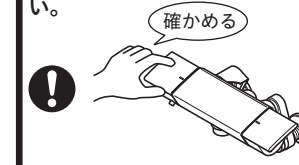









 この絵表示は、してはけない「禁止」の内容です	 この絵表示は、「分解禁止」の内容です	 この絵表示は、「接触禁止」の内容です	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**やけど、漏水をした場合の処置**

**やけど** やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。

**漏水** 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<b>警告</b>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p>  <p>85℃より高温</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合等の改造はしないでください。</p>  <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p>  <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>
	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p>  <p>分解禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>シャワーには60℃以上のお湯を通水させないでください。</p>  <p>60℃以上</p> <p>通水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>配管などの解水のため、解水機を使用する場合は、水栓には絶対に通水しないでください。</p>  <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>寒冷地仕様の場合</p> <p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p>  <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>湯側ソケットは熱くなっているため直接触れないでください。</p>  <p>湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>吐水口仕様の場合</p> <p>高温の湯をお使いのときには吐水口は高温のため直接肌を触れないでください。</p>  <p>やけどをするおそれがあります。</p>

<b>警告</b>	<p>湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうかを確かめてから吐水してください。</p>  <p>適温かを確認</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなる場合があります。</p>	<p>お使いになる前に吐水口側かシャワー側かを吐水切替ハンドルで確認してから湯を使用してください。</p>  <p>確認</p> <p>吐水口とシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめてから吐水してください。</p>  <p>確かめる</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>
	<p>高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流してください。</p>  <p>熱湯 ... 水</p> <p>次に使用する時、水栓内に残っている高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、必ず温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻してください。</p>  <p>次に使用する時、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがあるため、ハンドルはゆっくり回してください。</p>  <p>ゆっくり</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
	<p>器具に乗ったり、よいかかったりして無理な力を加えないでください。</p>  <p>ぐいつ</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。鋭利物や硬い物を当てないでください。</p>  <p>めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。</p>  <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>ハンガー使用時に、シャワーヘッドやハンガーにつかまったり、力をかけたりしないでください。</p>  <p>器具が破損し、けがをするおそれがあります。万一破損した場合は使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p>	<p>シャワーホースは無理に引っばったり折り曲げたりしないでください。</p>  <p>ホースの破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>シャワーヘッドは髪から離してお使いください。</p>  <p>髪に付けて使用するとシャワーヘッドのすき間に髪が絡まるおそれがあります。</p>	





# 日常のお手入れ・保守

## お手入れ方法

### 【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

### 【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬるま湯ですすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。



【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。

### 【使ってはいけないもの】

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。

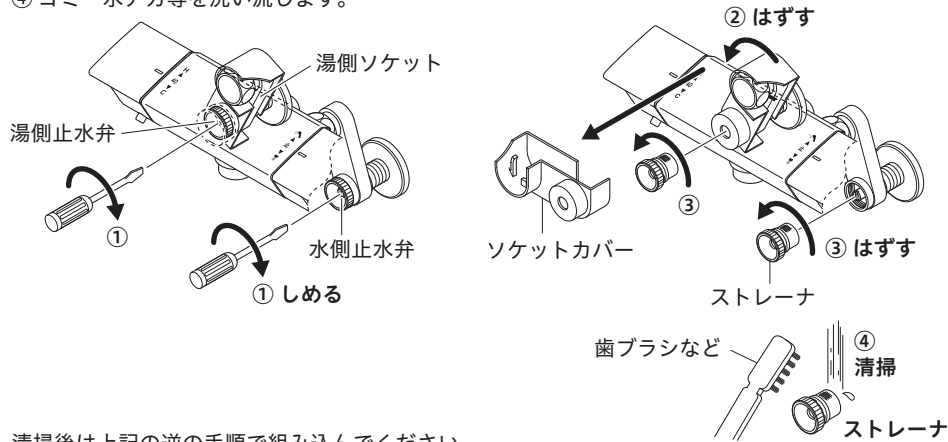
## ストレーナの清掃方法

ソケットと吐水口のストレーナにゴミがつまると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

### ソケットのストレーナ清掃

- 【△警告】ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- 湯水の止水弁〔2か所〕または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ソケットカバーを反時計回りに回してから、手前に引いて取りはずします。
- 湯側・水側のストレーナ〔2個〕を取りはずします。
- ゴミ・水アカ等を洗い流します。

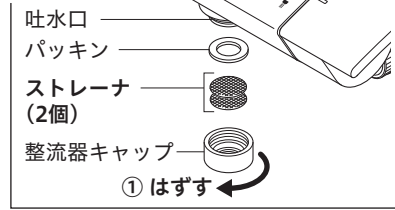


清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルを吐水口側にしてください。

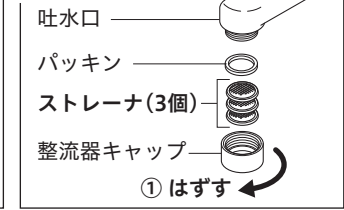
## 吐水口のストレーナ清掃

- 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ストレーナをブラシで水洗いします。

### 【吐水口固定仕様】



### 【吐水口仕様】



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

## 温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルを締め直してください。

### 【はじめに確かめてください】

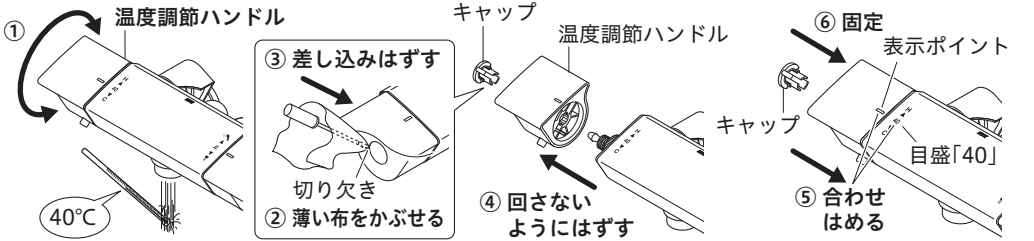
- 止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- 給湯温度50℃～60℃の湯が給湯できているか確かめてください。

- 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。

【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

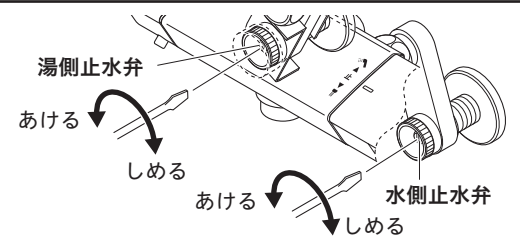
- 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
- 精密ドライバーをハンドル切り欠き部に差し込みキャップをはずします。
- 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
- ハンドルの表示ポイントを目盛「40」に合わせてはめます。
- キャップにて固定します。

【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。※目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。



## 流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。



## 定期的な点検

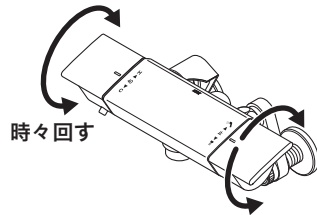
安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検をおこなってください。

### 温度調節ハンドルの操作性（1か月に1回程度）

- 【△注意】時々温度調節ハンドルをいっぱい回してください。温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

### 【吐水切換ハンドルの操作性】

時々吐水切換ハンドルをいっぱい回してください。吐水切換ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐水切換機能が損なわれるおそれがあります。



### 配管まわりからの水漏れ（1か月に1回程度）

- 【△注意】配管まわりから水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などにより継続的な漏水につながりますので、配管まわりの点検を行ってください。

## 定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）

使用年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
お客様による日常のお手入れ・点検	○											
消耗部品の交換（パッキン等）【有料】	○											
摩耗劣化部品の交換（シャワーホース等）【有料】	○											

**部品の交換** 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。  
 ・摩耗劣化部品の例（水栓の種類によって異なります）  
 例）カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等  
 【△注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。（逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。）  
 部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

**補修用部品の供給期間** この製品の補修用部品（機能維持に不可欠な部品）の供給期間は製造中止後10年です。

## 故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
湯水が止まらない	吐水切換ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水切換ハンドルを止水位置に合わせる	5 ページ 「吐水切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	9 ページ 「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	7・8 ページ 「ストレーナの清掃方法」
（シャワー）が弱い	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	ストレーナは凍っていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	9 ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	9 ページ 「流量の調節方法」
	給湯器の給湯温度を50℃～60℃に上げる		—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	9 ページ 「流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	7・8 ページ 「ストレーナの清掃方法」
吐水が飛び散る	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	8 ページ 「温度調節ハンドルの設定方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	7・8 ページ 「ストレーナの清掃方法」
シャワーの吐水状態が不安定	給湯器の給湯温度を50℃～60℃に設定し、水側止水弁をしぼることににより、改善される場合があります		—

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

- 【△注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。